

かみっこ

【学校の教育目標】
自ら考え 仲間とともに やりぬく
たくましい神岡の子
～ 自ら考える ～

令和6年4月23日

令和6年度神岡小学校 どうかよろしくお願ひいたします 校長 愛知慶介

4月1日の朝、春光のなか桜のつぼみは膨らみ、とはいえ、校庭にはまだ雪が残されている「あそらの丘」に、また、目の前には観音山、ちょっと仰ぎ見れば大洞山、遠くには乗鞍を望む懐かしい風景に、迎えられました。

この度の人事異動により、中津川市立加子母中学校より参りました校長の愛知慶介と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

4月8日の始業式、そして4月9日には、44名の新入生を迎え、全校生徒261名で、令和6年度の神岡小学校がスタートしました。着任式で新しい教職員を迎えてくれたのは、児童の温かく、まっすぐなまなざしでした。また、始業式・入学式において「今年の神岡小学校の願う姿」を伝えた時には、児童一人一人の真剣な姿がうれしく「神岡小の児童はすてきだな、すばらしい学校だな、」と心が弾みました。これまでの、ご家庭と地域・学校等での教育や支援の賜物であると感じるとともに、今年一年の神岡小学校の歩みに思いを馳せ、未来を生きる子どもたちの健やかな成長のために全力を尽くそうと、改めて思いを強くしました。

さて、神岡小学校の教育目標は『自ら考え 仲間とともに やりぬくたくましい神岡の子 ～自ら考える～』です。少し前のあたりまえが通用しなくなるぐらい、世の中がものすごいスピードで変化している現在、そして未来を、自分の力でたくましく生き、切り拓いていくために何が大切か、どんな力をつければよいか、また、どんな人をめざせばよいか、この教育目標には示されています。そこで、この教育目標に向かって、児童が身に付けていく【資質・能力】【合言葉】を以下のように考えました。(合言葉は昨年と同じです。)

【学校の教育目標】
自ら考え 仲間とともに やりぬくたくましい神岡の子 ～自ら考える～



【育む資質・能力】
願ひをもって何度でも挑戦し、よりよいものをつくり出す

【合言葉】
自ら考える



(1年生集合写真)

学習、仲間づくり、児童会活動、そして行事など、全ての教育活動において、どうすれば子どもたちが「願ひをもち」「何度でも挑戦し」「よりよいもの、考えをつくり出す」か。私たちは、常にこの思いをもって指導していきます。どうかよろしくお願ひいたします。

【あそらのそらのした】
二十代から三十代にかけて、神中で七年間、四十代になって二年間、神中に勤めて以来、十年ぶりの神岡、初めての神小勤務となりました。四月以降、今や、立派な父親、母親になったかつての生徒から、「私のことわかりますか」と声をかけられ、面影のある顔は覚えていないのに、名前が出てこないことがすでに何度もありました。許してください。
さて、先週、「キリスト坂」を子どもたちと一緒に下校しました。子どもたちと別れ、一人で学校に戻る時、久しぶりに「ふるさと」の街を坂道から見下ろしました。猛烈な懐かしさが湧きあがり、同時に、こちらに来てから、あちこちで「おかえり」と温かく声をかけていたのだことを思い出しました。声をかけられうれしやらありがたいやら、ちょっとだけ緊張しながらも、ほっこりした気持ちになり、改めて「ふるさと神岡」でがんばる思いを強くしました。この「四月のはじめの気持ち」を胸に、がんばる所存です。最後に、私たち神小職員の三つの「姿勢」をお伝えします。
私たち神岡小学校の教職員は、①子どもたちの温かい人間関係を築くために、児童の言葉に耳を傾け、心に寄り添います。②子どもたちの新たな挑戦を支えるために、児童の肯定感を高め、「前向き思考」を育てます。③子どもたちの主体的な活動を促すために、教師が過ぎず、児童の自己決定と試行錯誤の場を設けます。どうかよろしくお願ひいたします。